

令和3年度 自己評価結果報告書

NO.1

学校法人ゆりかご未来学園

期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

幼保連携型認定こども園 日向こども園

令和 年 月 日

A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する→どれか1つに○をつけて、各項目ごとに意見・改善案があれば記入して下さい。

| 項目 | 内 容 | 評 価 | | | | 意見・改善案 |
|----------|--|-----|---|---|---|---|
| | | A | B | C | D | |
| 教育・保育理念 | ① 理念や基本方針を具現化して職員に周知されているか | 1 | 3 | 3 | | 基本方針や保育の方向性等、職員間での周知が不十分なところがあり、共通理解が必要 保育者として園児に対する声掛け等、十分配慮し園児が意欲的に活動に取り組めるよう促していく。 |
| | ② 理念や基本方針を具現化して園や地域の特色を生かし、保護者に周知されているか | | 6 | 1 | | |
| | ③ 理念や基本方針に基づいた教育・保育が行われているか | 2 | 4 | 1 | | |
| | ④ 一人一人の子どもの人格を尊重した教育・保育について職員が共通の理解をもっているか | 2 | 3 | 1 | 1 | |
| | ⑤ 年間教育・保育テーマに基づいてクラス別の特色を生かしているか | 1 | 5 | 1 | | |
| 教育保育の計画 | ① 社会情勢や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育・保育課程の見直しを行っているか | 1 | 5 | | | ESDやITC化など、園での取り組みを進めていく。 発達の連続性を踏まえた保育を提供できるよう努める。 |
| | ② 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了・卒園までの長期的な視野を持っているか五領域に基づいた活動や生活が展開できるように配慮し作成されているか | 3 | 4 | | | |
| | ③ 子どもの体験が豊かになるよう行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか | 2 | 5 | | | |
| 子どもの発達援助 | ① 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか | 1 | 5 | 1 | | 子どもの状態を職員間で共有を図る。 食育活動を通し、食の大切さ伝えていく。 食事のマナーなど基本的なところをもっと伝えていきたい。 園児たちが自己肯定感がもてるような、声掛けや促しを心がけていく。 |
| | ② 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるように留意しているか | 2 | 5 | | | |
| | ③ 子どもが主体的に活動できるような人的・物的環境が整備されているか | 1 | 6 | 1 | | |
| | ④ 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助を行う体制に努めているか | 1 | 6 | | | |
| | ⑤ 健康安全や発達の促進を十分に図るため、日々の環境整備を留意する指導を行っているか | 1 | 6 | | | |
| | ⑥ 子どもに相应し、食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか | 1 | 5 | 1 | | |
| | ⑦ 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか | 2 | 5 | | | |
| | ⑧ 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、体験を積み重ねていけるよう計画を立て実施しているか | 2 | 5 | | | |
| | ⑨ 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう信頼関係を築く援助に取り組んでいるか | 2 | 5 | | | |
| | ⑩ 保護者の生活形態を反映し、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた配慮に留意しているか | 2 | 5 | | | |
| | ⑪ 個別の支援や関わりのある子どもが安心して生活できる教育・保育環境を整備し、内容や方法に配慮しているか | 1 | 6 | | | |
| | ⑫ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育・保育の内容や方法、保護者の相談に留意して行っているか | 2 | 4 | 1 | | |

令和3年度 自己評価結果報告書

NO.2

A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する→どれか1つに○をつけて、各項目ごとに意見・改善案があれば記入して下さい。

| 項目 | 内 容 | 評 価 | | | | 意見・改善案 |
|----------------|---|-----|---|---|---|---|
| | | A | B | C | D | |
| 保護者に対する支援助 | ① 子どもの発達や教育・保育などについて、保護者会の場を設け、保護者との共通理解に努めているか | 1 | 4 | 2 | | コロナの影響でできない部分が多く、今後工夫していく必要がある |
| | ② 虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努め、通知、報告義務を行っているか | 2 | 4 | 1 | | |
| | ③ 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか | 1 | 3 | 3 | | |
| 教育・保育を支える組織的基盤 | ① 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、衛生面や職員の健康管理に対応する専門職員の資質向上に努めているか | 2 | 4 | 1 | | アレルギーマニュアル等で職員間の認識の差異がなくなった。 |
| | ② 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し適切な対応や体制を整備しているか | 3 | 4 | | | コロナの影響等で職員配置等厳しい部分があった。 |
| | ③ 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応を実施できるように整備しているか | 2 | 4 | | 1 | 安全面に十分配慮した保育室の環境を整える。 |
| | ④ 地震などの自然災害に対する防災訓練・防災対策を行い、危機管理に努めているか | 2 | 5 | | | 自然災害に備えた、施設整備、安全対策の充実を図る。 |
| | ⑤ 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育・保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努め導いているか | 1 | 4 | 2 | | 研修制度の充実を図っていく。 |
| | ⑥ 研修等、教育・保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを計画的に実施しているか | 1 | 3 | 3 | | 園内研修の方法、テーマ(保育において現在困っていることや、職員間で高めあえる内容等)の選び方や、開催の方法(グループ単位で行うなど)に工夫をし、質の向上に努める。 |
| | ⑦ 事業計画が職員に周知されているか | 1 | 5 | 1 | | |
| | ⑧ 教育・保育の事業計画が利用者に周知されているか | 1 | 5 | 1 | | |
| | ⑨ 守秘義務の遵守が全職員に周知され、誓約書署名の下に守るように指導しているか | 2 | 3 | 2 | | |
| | ⑩ 個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか | 2 | 5 | | | コロナ禍で保護者会等開催できないことも多かったので、意見を聞く機会が少なかった。アンケート等の回数を増やす等、意見を聞く機会を確保する。 |
| | ⑪ 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか | | 6 | 1 | | |
| | ⑫ 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか | | 5 | 2 | | |
| | ⑬ 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育・保育の改善が図られるように努めているか | 1 | 5 | 1 | | コロナ禍で小学校との交流の機会が少なかった。 |
| | ⑭ 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実行に努めているか | 1 | 5 | 1 | | |

施設長評

○コロナ禍2年目ということで、感染対策などを講じ、工夫をしながらの日々の教育保育活動を行うことができたが、感染が流行している時など職員の配置に苦慮するももあった。また、地域への情報発信及び園庭開放等や、保護者会の開催等制限のあるものも多かった。

○教育保育の質の向上の取り組みとして、職員の外部研修への積極的な参加、園内研修等を通じて職員間で情報の共有化を図る。また、ESDやITC化などを見据えた取り組みを進める。

○危機管理、防災、防犯対策として施設の安全点検、備品の整備や、訓練等の充実を図る。